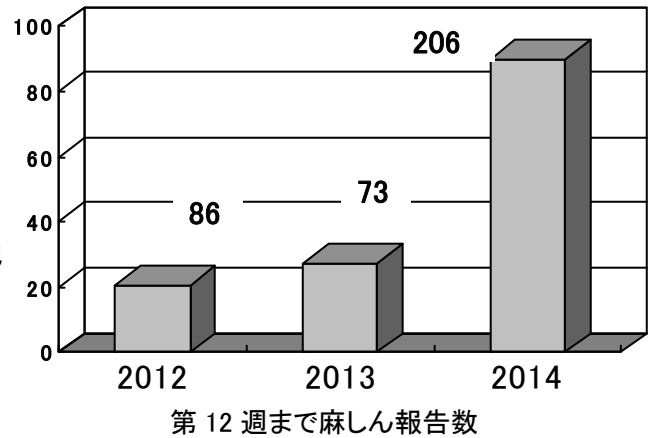


## 海外渡航者の麻しん感染者が急増しています

2014年第12週(3/17~23)までに全国で麻しんと診断された報告数が206例と昨年同週(73例)と比べ2.8倍増加しています。

報告数が多い都道府県は東京都34例、静岡県23例、千葉県22例、京都府21例、埼玉県18例、大阪府15例、神奈川県14例などで首都圏周辺と地方都市の静岡県、京都府などで増加が目立っています。



### 全国的に海外感染者が増加

国立感染症研究所は、2013年11月から2014年1月末までの集計で感染報告例の39%が海外で感染していたことから、全国的な増加要因として輸入例を指摘しています。

輸入症例の主な感染地域はフィリピンが71%、スリランカが8%、インドネシアが8%でした。これらの感染者のウイルス検査をおこなったところ、フィリピンではB3型、インドネシアではB3型が多く検出されたことから、これまでのわが国の常在ウイルス(D5型)とは異なっています。

### 本県での麻しん患者発生

2014年4月、フィリピン・セブ島渡航者から麻しんウイルスを検出しました。ウイルス検査の結果これまでにフィリピン感染者と同じ型のB3型でした。

### 予防対策

麻しん流行地域への渡航を希望する人は、自身のワクチン接種暦を確認の上、必要であればワクチン接種を行うことを薦めます。

### 麻しん・風しん混合ワクチンについて

(定期接種時期と回数)

- ・ 第1期:1歳代で1回接種。
- ・ 第2期:小学校入学の前年(幼稚園や保育園の年長クラス)。1回接種。  
(定期予防接種については、お住まいの市町村にお問い合わせ下さい)

(おすすめの受け方)

1歳になったらすぐ、「1歳の誕生日」に受けましょう。

(流行地域への渡航予定者)

自分のワクチン接種暦を確認の上、必要であれば接種を行いましょう。